

河川水質3地点で6年連続の基準達成

令和3年度の環境調査結果まとまる

市は、水環境や大気環境などの環境の監視を行っており、7月29日に令和3年度の環境調査結果をとりまとめた「令和4年版環境データ集」を公表する。

河川水質は改善傾向で推移し、水の汚れを表す代表的な指標の生物化学的酸素要求量(BOD)は、環境基準点3地点(船橋川・穂谷川・天野川)で6年連続して環境基準を達成した。大気環境では、光化学オキシダントを除くすべての測定項目で環境基準を達成。特に微小粒子状物質(PM2.5)は、自動車排出ガス測定局の中振局と一般大気測定局の王仁公園局で昨年度に引続き環境基準達成となった。

環境データ集は市ホームページに掲載しているほか、市役所別館6階行政資料コーナーや各図書館で閲覧できる。

★河川水質の状況では、カドミウムや全シアンなどの有害物質は、10年以上連続して環境基準を達成。なお、水の汚れを表す代表的な指標である生物化学的酸素要求量(BOD)は、環境基準点3地点(船橋川・穂谷川・天野川)全てで環境基準を達成した。

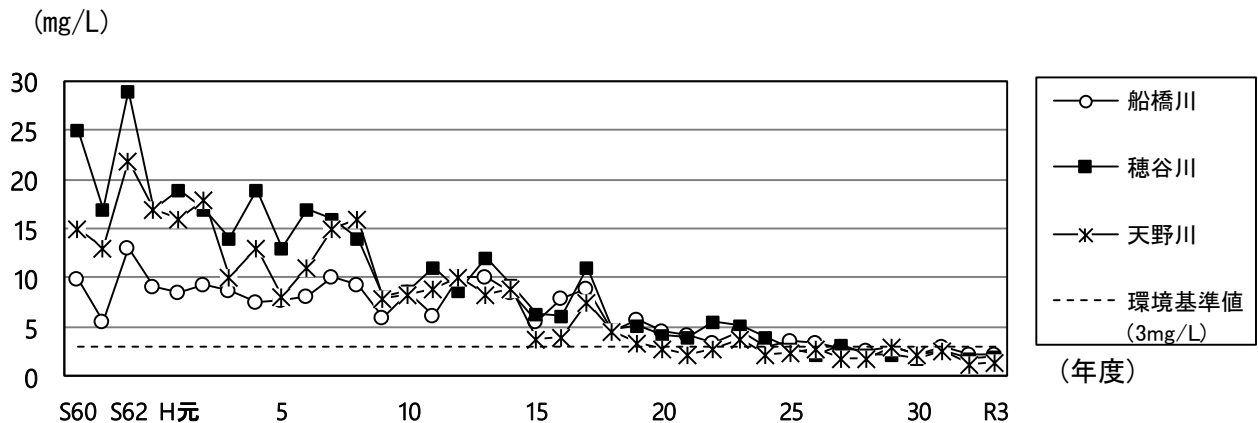


図1 環境基準点でのBOD75%値の推移と環境基準値との比較

★大気環境の状況では、大気質調査の各項目のうち、光化学オキシダントを除く、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質、二酸化硫黄、一酸化炭素及び有害大気汚染物質(ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン)については、環境基準を達成した。

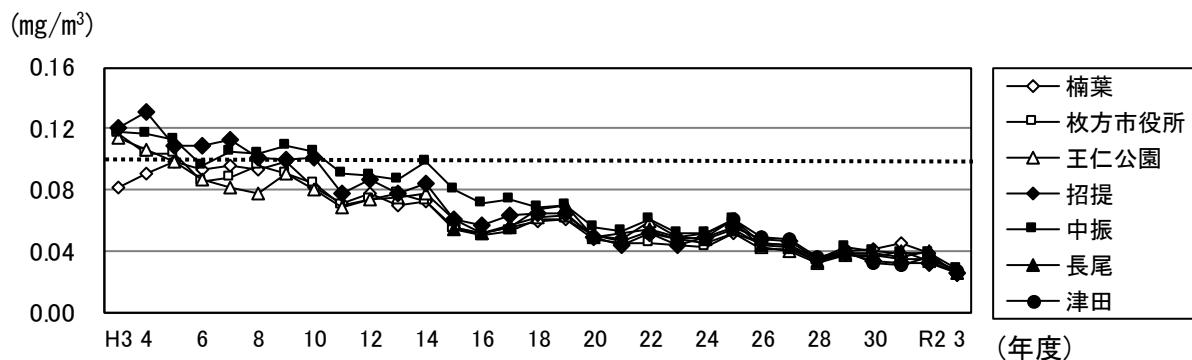


図2 浮遊粒子状物質の濃度の推移と環境基準値との比較 (…………… 環境基準値)

※長尾局については、令和3年度より測定休止

★微小粒子状物質（PM2.5）は、王仁公園局と中振局の年平均値が $8.2 \mu\text{g}/\text{m}^3$ と $9.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$ で、長期基準の $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下だった。また、日平均値の年間98%値も $18.3 \mu\text{g}/\text{m}^3$ と $20.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、短期基準の $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下だったことから、王仁公園局および中振局ともに環境基準を達成した。

環境基準に適合するためには、次の2つの条件を同時に満足する必要がある。

- (1) 年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
- (2) 日平均値の年間 98% 値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

★令和3年度の河川水質や大気環境について、詳細なデータや騒音、地盤沈下などの環境の状況を掲載しており、枚方市ホームページをはじめ、市役所別館6階行政資料コーナーや図書館で閲覧できる。

<お問い合わせ>

枚方市環境部 環境指導課 ☎ 050-7102-6018、FAX 072-849-1206